

● 2005年度 編集・広報委員会 報告

日 時：2005年5月17日 10：30～12：00

場 所：仙台国際センター

出席者：赤須，岡田，窪田，小山，佐々木，高井，辻岡，美津島，村上，滝（オブザーバー）

1. 2004年度活動報告

岡田幹事より，委員全員による分担体制を強化したこと，毎週メール委員会を持ったこと，日生誌の各号刊行を各月に遅滞なく行えるようになったこと，その編集は67巻10号まで終えていること，PSJ-Webも順調に更新され，その都度会員にメール連絡されていることが報告された．PSJ-Webの一般サイトと会員サイトの統合と会員サイトの整理を目的にした外注リフォームを12月完成見込でCognitom社に発注したが，同社河村氏の病気により2005年度に完成が持越されていることが報告された．

2. 2005年度活動方針

1) PSJ-Web（学会ホームページ）広報

- ①統合版リフォームはかなりの部分まで既に作業が終了していることが判明したため，Cognitom社に早期完成を促す．完成遅延のため，同社から価格引下げの申し出があったが，具体的には完成版の内容や長期アフターサービスの有無などを見てメール会議等で決定する．
- ②会員電子名簿の更新がスムーズでないので，充分

な対応ができるよう学会事務所の非常勤事務員の勤務時間増を財務幹事に依頼する．

- ③サイエンストピックスの著者候補の選定を進め，その推薦を常任幹事会でも依頼する．

2) 日生誌編集

- ①メディカルトリビューン（MT）社の見積りと杏林舎の現価格との比較を行った．サービス内容や部数に差があり，単純には比較できず，更に詳しい内容（編集作業内容，発刊までの所要時間，PDF版制作費，発送作業内容，発送手数料など）を問合せた上で，次の委員会で検討する．
- ②67巻11号から68巻9号までの編集を行い，VISION，LECTURES，PROFILE，H-PSJなどの著者候補者をリストアップした．表紙図の選定は本学会ポスターから約10点を高井，佐々木両委員が行う．各種委員会報告やグループディナー報告を6月末までに募りRECORDSへ掲載する．
- ③これまでのLECTURES原稿の製本化の可能性について次期委員会での検討を依頼する．

（美津島大，岡田泰伸）